

【ご提案】

金融・生活リテラシーアセスメント

～金融経済知識を身につけ、社員の仕事の意欲を高めトラブルから身を守る～



2025年
株式会社インソース

1. 概要と目的

1. 概要と目的

はじめに：金融リテラシーを高めるメリット

「金融リテラシー」とは、金融商品・サービスを利用する上で必要な知識や判断力のことです。2022年4月に成年年齢が18歳に引き下げられ、高校教育でも資産形成の授業がスタートしています。もはや、金融の仕組みや経済動向等を理解することは、現代人の必須の能力であると言えます。一方で金銭にまつわるトラブルは後を絶たないのも現実です。

このような社会的背景を受け、金融リテラシーを高めるメリットは以下の通りと考えます。

①社員の仕事の意欲を高める

金融リテラシーを高め、より良い人生を送るためのライフプランを考えることで、**資産形成やキャリア形成の意識を高めることができます**。その結果、**就労意欲が増し**、組織全体のパフォーマンスやエンゲージメントの向上にもつながります。

②社員を金融トラブルや不祥事から守る

お金に関する典型的な不祥事は、**借金返済や生活費に困り不正に手を染める**ケースです。近年では新社会人が暗号資産運用の**投資詐欺に巻き込まれる**事件も発生しています。コンプライアンス教育と同様に、金融教育を疎かにすると不祥事につながりかねません。

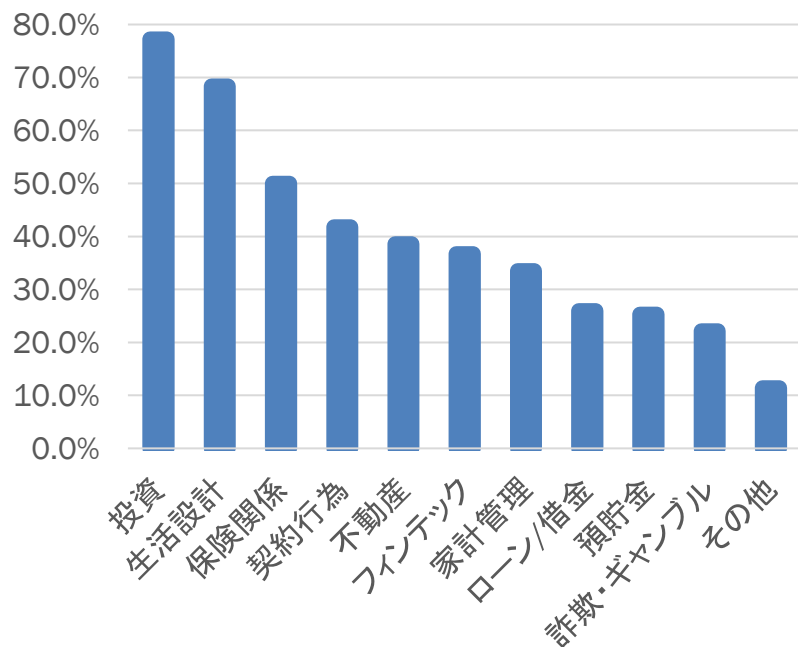
1. 概要と目的

求められる「金融・経済の知識」とは

アンケート結果からも「投資」に対する関心が非常に高いことが伺えます。一方で、借金、詐欺被害などのトラブルも多く挙げられています。

Q.従業員の「金融や経済に関する知識や判断力」に関して、課題・不足だと感じる点

金銭に関する課題、トラブル事例



- **リボ払い**での支払いを日常的に行う中で、**自転車操業**の状態になり、支払が困窮した。
- **ギャンブル**等により、**消費者金融**からの借金を繰り返し、多重債務に陥った。
- 従業員同士で**金銭の貸し借り**があり、借りた職員が退職し、回収が困難になった。
- 内容をよく把握しないまま、**借入保証人**となったが、借入の全額を支払う羽目になった従業員がいる。
- 本来**必要のない生命保険**に勧められるがままに加入し続けていないか

※2023年2月 弊社にて実施した「金融リテラシー」に関するアンケート結果より

2. サービス内容

調査内容

金融・生活リテラシー向上の目的を3つ置き、6つのカテゴリで評価します

アセスメントの設問には、「投資」「生活設計」「保険」「契約行為（詐欺被害含む）」「借金・詐欺」など、ニーズの高いテーマを盛り込みます。

<3つの目的と6つのカテゴリの概要>

| 3つの目的 | |
|--------------------|--|
| 資産形成力の向上 | 貯蓄や投資に関わる金融全般知識を有し、自身の資産を殖やすための合理的な選択ができる |
| 金融・経済の全般知識と理解 | 金融・経済に関する仕組み・制度・商品等の全般知識と理解を有し、業務活動や消費行動等に活用できる |
| 家計管理とライフプランニング力の向上 | 日々の収入・支出や資産・負債のバランスを把握し、必要に応じ改善を行うことでしっかりとした生活基盤を築き、無用なトラブルに巻き込まれるのを未然に防ぐことができる ライフプランニングを行い、中長期的に必要な資金計画を立てることができる |

| 6つのカテゴリ | |
|----------|--|
| 経済知識 | お金の役割・流れ、政府・金融機関の役割、経済指標・経済変動の理解 |
| 金融（税制）制度 | お金を稼ぐ、貯める、増やす上での課税・非課税制度 |
| 金融用語 | 資産運用、商品理解のために必要な基本用語 |
| 商品知識・投資 | 金融商品、契約行為のリスク・リターンを理解し、自己責任の下で運用する |
| 生活設計 | 適切な家計管理による収支改善・貯蓄、ライフプランを踏まえた必要資金計画、事故・災害・病気への備え |
| リスク管理 | 金融トラブルや多重債務の実態を知り、巻き込まれない法律・制度を活用し事態に対処できる |

※個別の設問を追加することも可能です（オプション対応）

2. サービス内容

設問イメージ

- 設問数 36問
- 所要時間 15分～25分程度
- 設問形式 WEB上で回答（正誤問題または4択形式）※専用のWEB環境より回答

| 問題／選択肢 | 解答・解説 |
|---|---|
| <p>【選択問題】 資産運用による利益の得方には、大きく分けて2つある。1つは「資産を保有することで利益を得る」で、もう1つは「資産の売却で利益を得る」である。「資産を保有することで利益を得る」をあらわす言葉はどれか。</p> | <p>正解は④ 資産運用の基本的知識ですので覚えておきましょう。「資産を保有することで利益を得る」はインカムゲイン、「資産の売却で利益を得る」はキャピタルゲインです。株式で考えると、株式を持ち続けることで得られる配当金や株主優待がインカムゲイン、株式の売却で値上がり益を得ることがキャピタルゲインです。インデックスとアクティブは投資信託の運用方針をあらわす言葉です。インデックスは特定の指数との連動を、アクティブは特定の指標を上回ることを目指して運用されます。なお、インデックスゲイン、アクティブゲインという言葉はありません。</p> |
| <p>【正誤問題】 住民税はその自治体に住む人に課される地方税であり、当年の所得をもとに課税される</p> | <p>正解は② 住民税は、前年の所得をもとに課税されます。6月ごろに、前年の所得を基にした住民税決定通知により税額が通知されます。会社に勤めている場合は給与天引きで納付しています。</p> |

設問の正誤そのものより、回答し、解説を読み解くことでリテラシーの向上が期待される内容です

2. サービス内容

貴組織のご事情、制度等に合わせた設問のカスタマイズが可能

基本設問の36問を修正、もしくは追加・削除等を行い、オリジナルのアセスメントを作成することも可能です。各組織が従業員のために用意している様々な制度、福利厚生は、そのメリットが浸透しにく傾向があります。そういった個別制度を浸透させることもできます。

例) 企業年金、持株会制度、各種保険など

【追加設問例】

- ・当社の持株会は●%の補助が出ることから、一般的に投資対効果が高い
- ・生命保険に加入する前に、会社が入っている保険を確認すべきである
- ・交通費等の清算を正確に行わなくても、懲罰になることはない
- ・期限通り書類を提出しない人間は人事部のブラックリストに載る
- ・金庫(レジ)のお金を一時的に拝借してもすぐに元に戻しておけば問題ない

設問や解説に人事部門の意図を反映し、より個別事情を加味した内容にカスタマイズできます。

2. サービス内容

対象者

全従業員（主に、新入社員～5年目までの若手社員）

（「新人8大スキルアセスメント」「階層別テスト」、などとも合わせてご活用ください）

概要

すぐに受検を開始できます

お申し込みから5営業日で受検を開始いただくことが可能です（※カスタマイズなしの場合）。

回答後は、すぐにWEB上で、ご自身で結果を確認いただくことができます。

管理者画面では、全員の結果を確認いただくことができます。

設問は2パターン（※）

同じ設問を繰り返し実施して、定着度を把握するケースや、企業内研修の前後に異なるパターンの設問で実施するケースがございます。

（※）初回はAパターン、2回目はBパターンでの実施を基本としております。難易度は同じです。

2. サービス内容

納品レポートイメージ

受検者の方は、回答後すぐに結果を画面上で表示、確認できます。

金融リテラシーアセスメント

回答日：2022/12/15(木)
回答者：東京一郎さん

あなたの得点率 ※配点は一律ではなく、設問によって異なっております

| | 得点率 | 判定 | コメント |
|----------------|-----------------------|----|--|
| 家計管理とライフプランニング | 50.0% (全国平均：60.0%) | C | あなたは家計管理・ライフプランニングに必要なリテラシーがやや不足しています。知識も学び実践する機会を増やしましょう。 |
| 金融リテラシー・知識 | 52.9% (全国平均：68.0%) | C | あなたは金融・経済を理解し合理的な意思決定をするためのリテラシーがやや不足しています。実生活の中でも積極的に吸収し活用していきましょう。 |
| 資産形成力 | 77.8% (全国平均：59.0%) | B | あなたは資産形成に必要なリテラシーも一定レベルで持っています。さらに高度なレベルを目指しましょう。 |
| 総合 | 58.3% (全国平均：62.0%) | C | あなたは社会人として、経済的に自立し、成長し、能力を発揮するための金融リテラシーがやや不足しています。個人として実生活の中でも、社会人として仕事の中でも、お金に関わる知識全般も積極的に身につけていくことも心がけましょう。 |

判定基準 A：100～90% B：90～70% C：70～50% D：50～0%（上限は未満、下限は以上で算出されます）

家計管理とライフプランニング：日々の収入・支出や資産・負債も把握管理し、必要に応じバランス改善を行うことで、しっかりとした生活基盤をもって生活ができる。ライフプランニングも行き、中長期的に必要な資金計画を立て、実行できる
金融・経済の全般知識と理解：金融・経済に関する仕組み・制度・商品等の全般知識と理解を有し、合理的な意思決定ができる
資産形成力：貯蓄や投資に関わる金融全般知識を有し、自身の資産を殖やすための合理的な選択ができる

回答者・管理者共に閲覧できる結果画面です。

3つの目標別・総合得点に関して、得点率に応じた判定が表示されます。

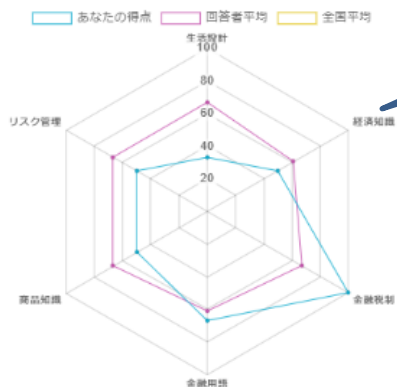
A：90～100%

B：70～90%

C：50～70%

D：0～50%

受検者は自身の分野別得点と組織内の回答者の平均をレーダーチャートで比較できます。



※各設問の配点は、独自の傾斜配点を設定しております
※画像はイメージです

3. ご活用事例

3. ご活用事例

アセスメントと研修を組み合わせた事例

アセスメントと研修を組み合わせて、金融リテラシーを身につける機会を繰り返し提供する事例です。

STEP1

- 1回目のアセスメントを実施

金融リテラシーアセスメント
(1パターン目)

STEP2

- 研修を実施

自らの人生を豊かにするお金の貯め方
～キャリアデザイン研修

20代向けキャリア研修～偶然の出会い
を活かし、人生100年を充実させる

STEP3

- 2回目のアセスメントを実施

金融リテラシーアセスメント
(2パターン目)

3. ご活用事例

アセスメント後のフォロー研修例

【例1】 自らの人生を豊かにするお金の貯め方～キャリアデザイン研修

◆概要：

自らのキャリアや将来自分がしたいことを考え、それを実現するために欠かせないお金を貯める方法や計画について学び、自らの人生をより良いものにするための方法について学びます。

◆対象者：

- ・自らの人生（キャリア）やお金に対して不安がある人
- ・お金の貯め方を学びたい人や計画の立て方を知りたい人
- ・なぜお金を貯める必要があるかを明確にしたい人

◆よくあるお悩み・ニーズ：

- ・キャリアデザインの中でも「お金」に重きを置いて学びたい
- ・お金を貯める必要性は分かるものの、何から学べばいいかわからない
- ・常にお金に対する不安があり、少しでも払しょくするための方法を知りたい

◆到達目標：

- ①自らの人生・キャリアの中で生じる不安を払拭する
- ②お金の貯め方を理解する
- ③お金に関する計画の立て方がわかる

プログラム案

1. キャリアを考えるうえで必要なマネー

2. お金を貯める必要性

- (1) 世の中の貯蓄状況を知る
- 【ワーク】資料を見て感じたことを共有する
- (2) 二極化する貯蓄率
- (3) お金を貯めるメリットを考える ～将来における人生の選択肢を広げる

3. お金が貯まらない理由

- (1) 収支を把握する ～目標は収支をプラスにする
- 【個人ワーク①】手取り収入と毎月の支出を洗い出す
- (2) 見落としがちなキャッシュレス決済
- 【ワーク】キャッシュレス決済の管理方法を共有する

4. お金を貯めるための方法 ～固定費の見直し方

- (1) 見直すポイントは大きな支出から
- 【個人ワーク②】毎月の支出から見直せるもの考える
- (2) 固定費を見直す① ～家賃
- 【ミニワーク】自宅に求める優先度を考える
- (3) 固定費を見直す② ～保険
- 【ミニワーク】保険の加入目的を考える
- (4) 固定費を見直す③ ～通信費
- 【ミニワーク】通信に求めることを考える

5. お金の貯め方 ～金融機関や社内制度を有効活用する

- (1) 先取り貯金を行う
- ①先取り貯金とは ②自動積立定期預金 ③社内預金 ④財形貯蓄
- (2) 金融機関の選び方
- 【ワーク】金融機関を選ぶ際に気をつけていることを共有する
- ①利便性 ②金利 ③ATM利用手数料 ④振込手数料
- (3) 定期預金と普通預金の違い
- 【参考】万が一金融機関が破綻した場合 ～預金等の保護の範囲

6. お金を貯める計画を立てる

- (1) お金を貯める目標を考える
- 【ワーク】お金を貯めて実現したいことを考える
- (2) 自分に合った方法を模索する ～PDCAサイクルで見直す
- (3) 計画通りに進まなくても落ち込まない
- 【参考】「緊急資金」を確保する

3. ご活用事例

アセスメント後のフォロー研修例

【例2】20代向けキャリア研修～偶然の出会いを活かし、人生100年を充実させる

◆概要：

人生100年時代の到来により、働く期間が長くなることを理解し、環境の変化がキャリアに与える影響について学んだうえで、自身のキャリアや働き方について考える。

◆対象者：

- ・20代の若手社員の方
- ・自身のキャリアについてこれまであまり考えてこなかった若手社員の方

◆よくあるお悩み・ニーズ：

- ・20代社員に、自身のキャリアについて考える時間を持たせたい
- ・入社5年以内で、転職・退職を考える若手社員が多い
- ・異動や職種転換などのキャリアにおける転機を前向きに捉えられるようになってもらいたい

◆到達目標：

- ①人生100年時代・キャリアの多様化がキャリアに与える影響について学ぶ
- ②自己理解を深め、キャリアの目的（パーパス）を見つける
- ③ブランド・ハプスタンス・セオリーについて学び、自身のキャリアの中で思い通りにいかないことも前向きに捉えられるようになる
- ④お金だけでなく、無形資産を蓄えることの重要性に気がつく

プログラム案

1. 時代の変化がもたらす、私たちのキャリアへの影響

【ワーク】自分のキャリアについて、不安に思っていることを共有する

- (1) 人生100年時代の到来
- (2) 多様化 ～直線的なキャリアに当てはまらない人の増加
- (3) スキル（職能）重視
- (4) 不安定な時代だからこそ、主体的なキャリア形成が大切
- (5) 人生100年時代、キャリアを豊かにするポイント

2. 自己理解を深め、キャリアの目的（パーパス）を意識する

- (1) キャリア戦略は「目的」があって初めて機能する
- (2) 目的の作り方 ～どんな存在でありたいかを考える

【ワーク】自分の経験を振り返り、キャリアの目的を考える

3. 偶然の出会いを活かす「ブランド・ハプスタンス・セオリー」

- (1) 変化を前向きにとらえる
- (2) ブランド・ハプスタンス・セオリーを実践するための5つのポイント
- (3) 好奇心 ～積極的に関心を持つ
- (4) 持続性 ～失敗してもあきらめず努力し続ける
- (5) 楽観性 ～異動などを自分のキャリアや人生の好機ととらえる
- (6) 柔軟性 ～どんなことでも受け入れる許容力をもつ
- (7) リスク・テイキング ～困難を乗り越えられれば成長があると考え、リスクを積極的にとる

【ワーク】去年の自分と比較して、「これができるようになった」と思うことを挙げる

- (8) 偶然の出会いを自ら作り出す

【ワーク】ブランド・ハプスタンス・セオリーを実践するための5つのポイントをどれだけ実践できているか、それぞれ評価する

4. 無形資産を蓄え、人生100年を充実させる

- (1) 人生100年を充実させるのは、お金だけではない
- (2) 無形資産とは
- (3) 生産性資産 ～スキル・知識

【ワーク】5年後どのような人材になりたいか考えたうえで、今後身につけたいスキル・知識を洗い出す

- (4) 活力資産 ～肉体的精神的な健康
- (5) 変身資産 ～変化に対して開かれた姿勢・人的ネットワーク

5. まとめ

【ワーク】キャリアの目的を軸に、今後達成していきたい目標を考える

4. ご利用料金、お申込方法、Q&A

4. ご利用料金、お申込方法、Q&A

■ご利用料金

| | | |
|----------|----------|--------------|
| 初期費用（税込） | 価格（税込） | 設問カスタマイズ（税込） |
| 0円 | 2,750円／名 | 110,000円～ |

- お申込み時にご申請いただいた対象者数と同数のアカウントを発行いたします。
- 回答可能期間は、アカウント発行ご案内日から6ヵ月間です。
- 期間中に1回のみ回答が可能です。複数回回答を希望される場合には追加料金（同額）が発生します。
※同じ方でも2回受検される場合は2回分の受検料が発生いたします。
- セキュリティ対策の観点から、お使いになる海外IPアドレスのみをアクセス許可するようにいたしますのでお申し付けください。
- 設問のカスタマイズは上記金額を下限として内容、分量によって個別のお見積りとなります。

■お申込方法

WEBinsourceもしくはWEBページからお申込みください。

お申込み後5営業日で受検環境を発行いたします。

※HP申込の場合は、先払い請求のため、発行までに3週間程度お時間がかかる場合がございます。



【WEBページ】

<https://www.insource.co.jp/hierarchy-newcomer/8-skill.html>

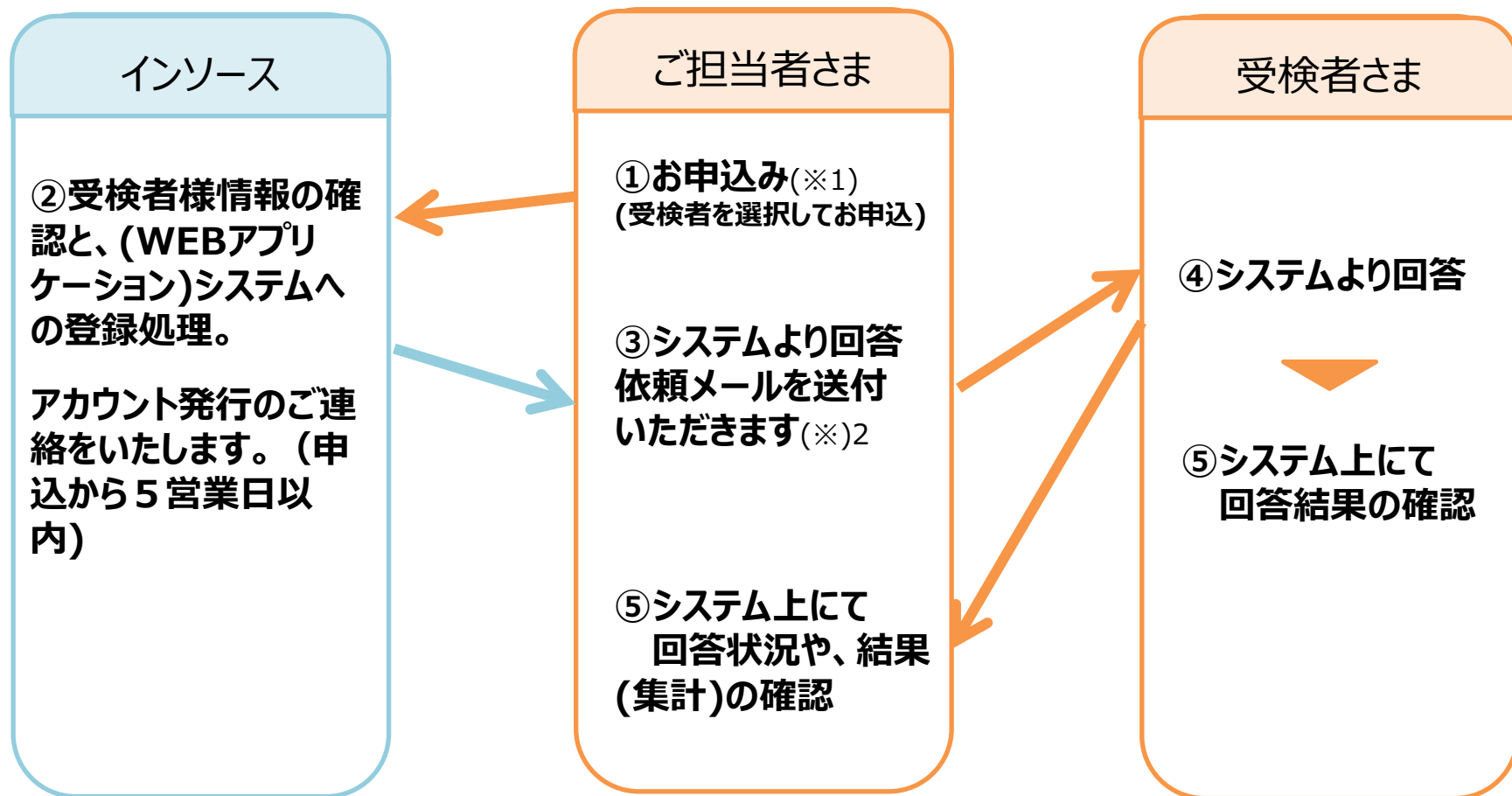
金融リテラシーアセスメント

検索



4. ご利用料金、お申込方法、Q&A

■ Webinsourceでのお申込後の流れ



※1 WEBinsourceでのお申し込み可能人数は100名までです。101名以上のお申し込みの際はご相談ください。

※2 システムの利用方法に関しましては、アカウント発行のご連絡時に詳しい操作マニュアルを同送いたします。
(ご担当者様には受検者とは別の管理者アカウントが発行されます)

4. ご利用料金、お申込方法、Q&A

Q. 対象者のアドレスは何に使用するのですか？

- A. 対象者への回答依頼や未回答者へのリマインドを、システムを通してご担当者さまに行っていただくために使用します。弊社から対象者に直接ご連絡することは一切ございません。

Q. 業務用メールアドレスを持っていない（配布前の）対象者がいるのですが、対象者の個人アドレスは必ず必要ですか？

- A. 個人アドレスの提供が難しい場合、以下の方法にて対応が可能です。

- ①アドレスを部署アドレスもしくはご担当者様のアドレスなど同一のもので登録
 - ②弊社より各自のID／パスワードをご担当者さまにご連絡
 - ③ご担当者さまから書面・個別メール等でシステムURLとID／パスワードを対象者にご案内
- ※対象者のアドレスがない場合は、メール以外の方法でご担当者様に周知いただく必要がございます。

Q. 担当者はどのような操作が可能ですか？

- A. ご担当者さまには、「現場責任者」の権限をお持ちいただきます。当権限では、以下の操作が可能です。

- ①対象者への回答依頼メールを一斉送信（※個人のアドレスがある場合）
- ②対象者の回答状況確認
- ③未回答者への回答督促メール一斉送信（※個人のアドレスがある場合）
- ④回答者ごとの結果確認
- ⑤回答者全員の平均結果確認

Q. アセスメント利用時のログインIDは指定できますか？

- A. ログインIDはシステム上任意に決定され発行されます。
ご指定のIDで実施されたい場合は事前にご相談ください（オプション/個別見積もりにて対応させていただきます）

Q. システム利用可能な期間を教えてください。

- A. 原則アカウント発行ご案内日から6か月間です。サービス開始時に、お客様よりいただいたユーザ情報をもとに、本サービスのユーザアカウントをユーザ人数と同数作成いたします。実際の、回答可能期間は個別に定めるものとなりますが、アカウントの利用期間は、アカウント発行日から6か月間となります。
※途中で追加したユーザアカウントも初期アカウント発行日からカウントいたします。

利用期間経過後は、自動的にユーザアカウントおよび管理者アカウントは利用できなくなります（ログインできなくなります）

4. ご利用料金、お申込方法、Q&A

Q. メールテンプレートを事前に確認することはできますか？

A. 可能です。ただし、メール内容はご担当者自身で、テンプレートを修正しお送りいただきますので、基本的には、事前確認はなしでご利用いただけます。

Q. アセスメントは何回でも実施可能ですか？

A. 可能です。ご利用期間内であれば、複数回実施いただくことは可能ですが、受検回数に応じて料金が発生いたしますのでその点ご注意ください。※同じ方でも2回受検された場合は2回分の受検料をいただきます。

Q. 新人以外（中堅、ベテラン社員など）でもできますか？

A. もちろん、可能でございます。

Q. 回答にかかる時間はどれくらいですか？

A. 15～20分程度です。

Q. 回答途中で一時保存できますか？

A. 可能です。回答ページの下部に「一時保存」ボタンがございます。

Q. 受検結果はいつ見られますか？

A. 受検者→受検後すぐに見ることができます。回答者平均の点数はリアルタイムで反映されるため、全員が回答し終えるまでの間は確認するタイミングによって点数が前後します。管理者→一人でも回答すればすぐレーダーチャートで表示され、回答者が増えるごとに平均点が更新されていきます。全回答者が回答し終われば、それが組織平均になります。

4. ご利用料金、お申込方法、Q&A

Q. 回答結果は個人個人で見ることができますか？

A. 可能です。各対象者は自身の回答結果を、回答後すぐに確認できます。

Q. 回答の解説はありますか？

A. ございます。「テスト」の解説（pdf）があります。全員の受検終了後、ご担当者自身で「公開」設定にいただければ、受検者は解説のファイルを閲覧することができます。もしくは、PDFデータをDLし、アセスメントWEB環境から受検者にメール（添付）で送付することも可能です。

Q. 担当者は全体結果だけでなく個々人の結果も見ることができますか？

A. 可能です。代理入力も可能です。管理画面で「参照」を押下するとレポートをご確認できます。

Q. 受検者の結果をすぐに見せないようにすることはできますか？

A. 可能です。受検結果が見えなくなるのは受検者側だけですので、管理者画面では個人結果、全体結果をリアルタイムで確認することができます。

Q. 一部の受検者に対して、紙面受検を実施したいのですが可能ですか？

A. 可能です。紙面受検の方法を事前にご相談させていただきます。
有償対応（別途お見積りとなりますが）当社でシステムへの入力代行をさせていただくこともできます。

4. ご利用料金、お申込方法、Q&A

Q. スマホやタブレットでも受検できますか？

A. 可能です。モバイル端末専用画面をご用意しております。（管理者はPC画面のみとなります）

Q. 回答結果を一覧でダウンロードすることはできますか？

A. 可能です。ご担当者様は、回答者の回答や設問毎の得点などの回答結果をcsvで一括出力できます。

Q. 対象者全体のアセスメント結果（組織平均）はいつ見られますか？

A. 対象者が一人でも回答すればすぐに結果を閲覧できます。その時点までで回答が完了した受検者の平均点が表示されます。（3名回答済みであれば3名の平均が、10名回答済みであれば10名の平均点が表示されます）
全回答者が回答し終われば、それが組織平均になります。

Q. 結果を印刷することはできますか？

A. 個人、管理者ともにPCの結果画面を印刷することをご対応いただいております。
ブラウザとプリンタの機能に一部依存する部分がございますので、その点をご了承いただいております。

Q. アセスメント結果にコメントは表示されますか？

A. 各人の結果に応じたコメントは表示されません。
あくまでスキルレベルを可視化するための簡易調査と認識していただければと思います。

4. ご利用料金、お申込方法、Q&A

Q. 受検者が特定の日時に一斉に受検する場合はご相談くださいとありますが、なぜですか？

A. 一斉に受検すると、アクセス集中等によってシステムに負荷がかかり、回答できなくなるリスクがあるためです。100名以上などで、一斉受検を必須とする場合、別途ご相談ください。

Q. すでにLeafを利用しているのですが、そのLeafを使って階層別テストを受検することはできますか？

A. 大変申し訳ございません。
既存のLeafへの連携等はできない仕様となっております。ご容赦ください。

Q. システム利用可能な期間を教えてください。

A. 回答可能期間は、アカウント発行ご案内日から6ヵ月間、システムへのログイン可能期間はアカウント発行ご案内日から1年を超えた最初の6月末日までです。

※途中で追加したユーザアカウントも初期アカウント発行日からカウントいたします。

※利用期間経過後は自動的にユーザアカウントおよび管理者アカウントは利用できなくなります。（ログインできなくなります）

※回答可能期間は個別に定めることも可能です（●月●日～●月●日など）

ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。



assmet-jimukyoku@insource.co.jp

営業時間：9:00 - 17:00（土日祝日、年末年始を除く）



ご契約中のヘルプデスクは、システム操作も熟知したメンバーが丁寧に対応させていただきます。